

静岡県社会体育施設指定管理者評価委員会による評価結果

令和3年12月9日
静岡県スポーツ・文化観光部
スポーツ局スポーツ振興課

1 趣旨

静岡県立水泳場、静岡県富士水泳場及び静岡県武道館については、平成30年度から第4期となる指定管理者による管理運営が行われています。

施設名	指定管理者	指定期間
静岡県立水泳場	静岡県スポーツ協会グループ	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
静岡県富士水泳場	静岡県富士水泳場マネジメントグループ	
静岡県武道館	静岡県スポーツ協会グループ	

※静岡県体育協会グループは令和2年度に静岡県スポーツ協会グループに名称変更

これらの施設における管理運営が、利用者サービスの向上と管理経費の縮減という指定管理者制度の目的を達成しているか、また、公の施設として条例に掲げる設置目的の達成に貢献しているか等について、客観的な評価を行うため、第三者の委員からなる評価委員会を設置し、委員会による評価を行いました。

2 評価委員会の実施について

施設名	実施日	内容
静岡県立水泳場	令和3年11月2日	指定管理者による事業実績説明
静岡県富士水泳場		質疑応答 指定管理者による事業実績説明について質疑応答
静岡県武道館		意見交換及び評価 意見交換後、委員ごとに評価を実施 評価・講評 委員会としての評価の決定及び各委員からの講評

(評価委員会) ◎=委員長、○=委員長代理

氏名	所属・役職
佐藤 克昭◎	佐藤経済研究所所長、浜松学院大学元教授
川口 良子○	合同会社 デザイン・アープ 代表
竹田 利恵子	静岡県スポーツ推進委員連絡協議会 副会長
前田 恭伸	静岡大学工学部教授 (事業開発マネジメント系)
杉山 康司	静岡大学教育学部教授 (保健体育系)

3 評価について

以下の「評価の視点」「評価項目」に基づき評価を行いました。

評価の視点	評価項目		配点
○施設の管理運営を適切に行っているか ○競技力の向上及び指導者の養成を図るとともに、県民の健康増進とスポーツの振興に寄与しているか	①	経営管理	20
	②	管理運営体制	20
	③	利用者サービスの向上	20
	④	危機管理体制等	20
	⑤	求められる業務水準	20
計			100

4 評価結果について

評価区分は、「優」「良」「可」「要改善」の4段階で、各委員の採点の平均点に基づき決定しました。総合評価は各評価項目の得点の合計により決定しました。

施設名	静岡県立水泳場						
指定管理者名	静岡県スポーツ協会グループ						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	18	18	17	17	17
		評価区分	優	優	優	優	優
内 容							
主な評価点：良いと評価した取り組み等 提言：改善や一層の努力を求めたい点等							
主な評価点	・コロナ禍による休業の影響は大きかったが、光熱水費を中心に経費縮減に努め収益確保を図るとともに、適切な感染防止対策など安定した管理運営が実施されている。						
提言	・コロナの終息化を見据えた収入回復策の実践と、競技力向上・指導者養成等におけるデジタル活用や、各種教室のサービス見直しなど、変化対応の取組みを期待する。						

施設名	静岡県富士水泳場						
指定管理者名	静岡ビル保善株式会社						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	18	19	19	19	18
		評価区分	優	優	優	優	優

<p>内 容</p> <p>主な評価点：良いと評価した取り組み等</p> <p>提言：改善や一層の努力を求めたい点等</p>	
主な評価点	<p>・コロナ禍にありながらも、施設利用促進策の実施、光熱水費の契約見直し等の経費縮減や、利用者の安全・快適な環境整備など創意工夫を發揮した取り組みが評価される。</p>
提 言	<p>・堅実な管理運営体制の維持、強化と、利用者の満足度や安全管理へより次元の高い対応、課題であるタイル劣化等の対策など、一層の質向上に向けた取組を期待したい。</p>

施 設 名	静岡県武道館						
指定管理者名	静岡県スポーツ協会グループ						
評 価	総合		優				
	評価項目別	評 価 項 目	①	②	③	④	⑤
		得 点	18	17	17	17	17
	評 価 区 分	優	優	優	優	優	
<p>内 容</p> <p>主な評価点：良いと評価した取り組み等</p> <p>提言：改善や一層の努力を求めたい点等</p>							
主な評価点	<p>・コロナ禍に伴う大幅な収入減に対し、光熱水費の契約変更等による経費縮減と、スポーツ振興・普及や感染症対策の着実な実施など堅実な管理運営が行われている。</p>						
提 言	<p>・収支が赤字に転じている。半減近くに落ち込んだ収入の効果的な回復策を計画、実践することが望まれる。また利用者の事故対応など安全管理の徹底が期待される。</p>						

(評価区分)

評価区分	基 準	意 味
優	配点の85%以上	大いに評価できる
良	同 70~85%未満	評価できる
可	同 50~70%未満	普通
要改善	同 50%未満	改善を要する

別紙

<発言> ●委員 ○指定管理者 □県

【県立水泳場】

●新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、利用者数が前年に比べ約4割となったことで、利用収入の減少が大きかったと思う。施設の経営が難しい部分もあったかと思うが、改善を図るためにどのような取組を実施したのか。

○利用者数を増加するために、競技団体と情報共有を図り、利用の促進を図るとともに、光熱水費の節減、雇用にかかる助成金の活用を図るなどして、経営を工夫しました。

●経費の節減に迫られ、利用者数の増加に向けた前向きな取組を実施することは難しかったと思うが、何か取組をできた部分はありますか。

○教室事業については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、開催できる時に積極的なPRを実施できたが、大会等については、競技団体の方針によって開催可否が決定するため、管理者側として、利用の促進に係る前向きな取組を実施することは難しかったです。

●天井部材の落下により、休館していた期間があったことも、利用料収入の減少に繋がったと思われる。休館することで、利用者離れも懸念されるので、休館にならないような管理体制の実施をお願いしたい。

○了解しました。

●利用者アンケートについて、対象者が大会参加者、プール利用（一般利用）、トレーニング室（一般利用）のように具体的に決まっているのか。

○アンケート調査については、期間を決定し、一般利用者の方に対して実施しました。特に対象を設定し、実施はしていません。

●アフターコロナを踏まえた上で、来年度への改善に繋げていくためには、具体的な対象を設定し、実施することが望ましい。例えば、大会に参加した子供、引率者へのアンケートの実施など、対象を細分化することで、設備に対する要望、運営に何を求めているのかといった把握が可能となり、施設の修繕、改修等、設備の見直しにも生かすことが可能となる。

●アンケートで、水泳場、トレーニング室、教室などの参加者がどの地域の方が多いかといったことも把握できるようになれば、利用者の増加に向けた取組への情報になるため、工夫して実施していただければと思う。

○競技団体等、施設を利用する機会が多い団体については、毎年意見交換会を実施し、施設運営等へ生かしていますが、委員ご指摘のとおりアンケートの実施方法については課題であるため、対象も含め今後検討していきます。

●アンケートについては、県が主体なのか、指定管理者が主体なのか。

○アンケートについては、県が雛形を提供し、期間、対象は指定管理者で決定し、実施しています。

●昨年度、大会についてはどのように開催していたのか。

○基本的には、無観客で実施しました。ガイドラインも参考に、基準以上に密を避ける形で実施しました。

●休館を生かして、改善点、気づきはあったのでしょうか。

○体温計の配置、備品の状況の見直しが実施できました。

●新型コロナを契機として、見つかった改善点を反映させ、今後の管理運営に生かしていただい

ればと思う。

●リモートでの講習、教室の実施等、競技力向上に向けた新しい取組、利用者への新しい取組も積極的に実施していただきたいと思う。

○新しい取組も含め、今後検討していきます。

●新型コロナウイルスの感染拡大前から利用者数は減少の傾向だったが、どのように分析しているのか。

○立地条件等の影響もあり、新たな教室参加者の人数が伸び悩んでいること、合宿等の利用者の減少といったことが要因としてあげられます。今後、利用者数の増加を図るために、受け入れ大会の拡大を検討していきます。

●大会の実施には、県内の他の水泳場との調整等が必要になってくるかと思うが、今後、利用者拡大を図っていくために、県立水泳場としての強みを新たに発見し、PRできると良い。

【武道館】

●アンケートの対象が明確でないため、教室利用者、トレーニング利用者等といった対象を明確にすること、アンケートの項目についても検討をお願いしたい。

●アンケートの雛形については、県が提供していることから、アンケートの方法、内容について見直し、改善に繋がられるような項目設定をしていただきたい。

□目的を明確にし、指定管理者と協議しながら、アンケートの実施について検討していきたいと思えます。

●自主事業について、4月～6月は、緊急事態宣言の影響もあり中止となっているが、その後、教室の数を増加させるなど、利用者の増加に繋がる取組を積極的に実施していることは評価できる。

●利用者の年次推移については、どのように分析しているのか。

○立地的な要素が大きく、教室も多彩であるため、利用者が増加していることが考えられます。

●武道館で実施の子供教室について、同じような事故が2ヶ月連続している。実施主体はどこか。

○武道館の自主事業として、職員が中心となって実施しています。職員とともに、競技経験者等をお願いをして指導を実施しています。今回の事故については、子供達がグループで競技を実施している際に、別グループの友達がいたずらをしようとして、事故が発生しました。予期できない行動だったとはいえ、今後、人間関係を踏まえたグループの組み方、職員の監視の強化を図り、事故を未然に防ぐように徹底していきます。

●子供の教室の規模はどの程度なのか。

○20人～30人程度の規模で実施しています。10人に対して1人の職員を配置するようにしており、競技によっては、専門指導員をお願いして、実施もしています。

●テレワーク等の実施はあったのか。

○現場の職員はテレワークの実施はなかったが、施設長会議等でリモート会議を実施しました。

【富士水泳場】

●新型コロナウイルス感染拡大の中でも、コース貸切りの利用は増加し、一般利用者の減少も低く抑えられている。その結果の要因は何か。

○一般利用に関しては、新型コロナウイルス感染拡大で、長期の合宿等が中止になったため、例年よりも一般利用の開放日数が増加したことが要因として考えられます。コース貸切りについては、新型コロナウイルスの感染拡大で、首都圏の競技団体が、近隣の水泳場を利用することが出来ず、富士水泳場の利用が増加したことが要因として考えられます。

●教室の実施中、災害等の緊急事態が発生した場合の避難方法はシミュレーションしているのか。

○年に2回、消防設備点検と併せて避難訓練を実施しています。実際に、利用者の方がいる状態での場面を予測し実施しており、訓練での課題をマニュアル等に反映させるようにしています。

●昨年度も指摘したプールサイドのタイルの清掃についてはどうなっているか

○昨年度の指摘から、薬品等を試行錯誤した結果、一部を清掃することができました。しかし、清掃するにあたっては時間も要するため、時間をかけて清掃を実施していく予定です。

●ハザードマップが改訂されたことで、富士水泳場について、溶岩流、降灰などの可能性が指摘されている。避難についてはどう考えているのか。

○ハザードマップでは24時間以内に、溶岩流が来る可能性は低いと考えられるが、避難方法については、避難所として富士川第一中学校に指定されています。溶岩流や降灰により外に出るのが危険で、水泳場に留まった方が良く判断した場合の為に、緊急時用浄水装置と非常食も1日程度用意をしています。まずは避難を考え、情報を集め、被害が北側から及ぶと想定した場合は南側の青葉台小学校に避難も考える場合もあります。また、実際の現場では状況に応じて対応することが必要なため、マイクロバスの利用、避難方法など、様々な状況を想定した避難訓練を実施し、災害が起きた場合に、職員が対応できるように準備をしています。

●マニュアル等への反映は可能か。

○マニュアル等への反映が難しい部分もあるが、様々な場面を想定した、対応方法について、今後検討していきたいと思います。

●競泳プールのタイル落下の原因は判明したのか、また今後の対応はどうなっているのか。

□詳細調査を実施し、原因は接着度の強度不足が原因と考えられ、経年劣化等が主な要因となっていると推測されました。しかし、断定までには至らなかったのが現状です。修繕工事では、競泳プール全体にピン止めを実施する予定であり、過去に工事を実施した飛び込みプールでは、現在まで不具合の報告はないことから、今回の修繕工事で落下の懸念はなくなると思われます。

●タイル落下の原因追及だけでなく、今後どうあるべきなのかも検討していただきたい。

○県とも検討しながら、今後のあり方について検討していきます。

●実際に地震が生じた場合の対応は迅速に行えるのか。

○富士水泳場には現場長もおり、施設内の利用者状況を常に把握するように、職員に対しても、指導しています。そのため、不測の事態が生じた場合でも、現場長を中心に迅速に対応を行えます。